

秀明改

編集
アンチカルト編集室
発行所
家族を新興宗教
から守ろう
fujayahoko@excite.co.jp

リセット

OBが秀明会を作っているため、明通信者のページもご覧下さい

子供にも親と同等の権利がある 宗教の押しつけは人権侵害

お礼の言葉
。。淳（5才）
明主様ありがとうございます。会主様、会長先生ありがとうございます。ありがとうございます。

ぼくは、京都支部の。。淳です。今日は、七五三ありがとうございます。ぼくは毎日朝と晩に明主様にお祈りして感謝献金しています。ぼくは毎日お父さん、お母さんからご浄霊をいただいています。ぼくは明主様絵本が大好きです。中でも正義の味方、悪を懲らしめ、良い子を助け、明主様をお守りする金龍神が大好きです。

右記文章は、平成十六年十二月一日発行の秀明ジュニアニュースに掲載されたものです。この文章と併せて本人がマイクを持ってこのお礼の言葉を述べている写真「左記



感謝の言葉を述べる5歳児

自分がその宗教を素晴らしいと思っ信じていることが認められていて、自分の子供にもその権利は認められねばなりません。子供は親の所有物ではなく、一人の人間なのであり、子供にも親と同等の宗教を信ずる権利、信じない権利が認められるのが本当の宗教の自由です。自分の子供に平気で自分が信ずる宗教を押しつけることができる親は、子供の人権を無視した原理主義に転落した人間です。

（写真は加工してあります）も掲載されているので、秀明本部で行われた七五三の式典でこうした言葉が述べられたようです。

何の疑いもなく、5才児にこうした言葉を述べさせている大人の存在を考えると、本当に背筋が寒くなる思いがします。

どんなに自分が熱心に特定の宗教を信じている場合であつても、他人はまた違った価値観で生きているものであり、自分の信じている宗教をむやみに押しつけるべきではありません。それが例え自分の子供であつても、自分で判断ができるようになるまで親は自分の信ずる宗教を押しつけるべきではありません。

何だこれは？

この件に関する詳細な内容が、
<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/9575/jisedai.html>
に掲載されています。

親は子供に宗教を押しつけていいのか！

この子供達は将来 親を憎むことになる

初詣や七五三参り等、日本に古来から伝わっている伝統行事に子供を参加させるだけであれば特に問題視することは無いと思います。が、子供に上記のような発言をさせるところまで特定の宗教を刷り込むのは親のバカさ加減を示しているだけです。



写真は加工してあります

こうしてバカな親子の姿を平気で機関誌に載せているのは、秀明会自体が信教の自由を無視した団体である証拠です。

彼らは宗教団体のフリをしていてだけで、実際はカルト集団でしかないのだから信教の自由を無視するのは当然と言えば当然ですが・・・

「次世代教育」という名の下に、秀明会では小さな子供達にカルト思想を刷り込んでいます。この子供達が成長し大人になったら、どのような価値観を持つ人間が世の中に出てくるかと思うと暗澹（あんたん）たる気持ちになります。それまでに子供達自身が秀明思想の矛盾に気づいて脱会しようとするれば、秀明思想に凝り固まった親との戦いが始まり、また新たな家族の崩壊が起きることになります。

一日も早く秀明を崩壊させることが、涙を流す人を減らすことに繋がります。

十分な判断力のない子供の頃から信仰二世として秀明思想を刷り込まれ、正常な判断能力を奪われたかと思えば若者の中にも、自らの力で秀明の誤りに気づき、秀明から去っていく者がいる。過去に秀明紙に登場し、秀明紙の中で声高らかに秀明を賛美していた若者の中にも、時間の経過とともに秀明の誤りに気づき私生活の所へメールを送ってくれた慶子さんという女性、これまで数々の秀明の表舞台に立つて積極的に活動し、本部の意見発表や秀明紙に掲載されたことなどを「榮譽なこと」と受けとめてきたが、いま自分の過去を振り返ったとき、それらの榮譽は色あせ、「今となっては、榮譽なことだったとは全く思っていない」と述懐している。